

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は 2023 WA Competition & Technical Rules、2023 年度日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項に従って実施する。

2. 招集について

- (1) 第一次招集は1階雨天走路に設ける招集所にて行う。必ず選手本人が番組編成にある自身の組・レーンを確認し、レーン番号に丸をつけること。その際、ユニフォームを着用した状態で集まり、アスリートビブス・腰ナンバーカード・商標・競技使用予定のシューズの確認を受けて招集を完了とする。
- (2) 5000mに関しては、第一次招集時に腰ナンバーカードと番号をあわせた長距離専用別アスリートビブスを配布する。なお、競技終了後、長距離専用別アスリートビブスは競技役員が回収する。
- (3) リレー競技の第一次招集は、出走者4名全員が受けること。その際、上記確認事項に加え同一ユニフォームであるかを確認する。
- (4) リレーオーダー用紙は、第一次招集完了時刻の60分前までにTICへ提出すること。リレーオーダー用紙を提出しなかった場合、そのチームは欠場とみなす。(「3. 欠場について」参照)
- (5) リレーチームの編成は、必ず当該リレーチームでエントリーしている者が2名以上含まれていなければならない。決勝も同様である。(競技規則 TR24.10) なお、本大会は「2023 関西学生新人陸上競技選手権大会」と「2023 ディムライトリレーズ」の併催という形をとっているが、この2大会は同一大会とみなし、新人戦にエントリーしている選手もディムライトリレーズに出場できる。
- (6) リレーオーダー用紙提出後の選手変更は、本大会の医師、医務員の判断がない限り認められない。この規則に従わなければチームは失格となる。(競技規則 TR24.11)
- (7) 同一時間に2種目以上出場する競技者、および競技中のため他の種目の第一次招集を受けられない競技者は、第一次招集完了時刻までに重複出場届をTICに提出すること。
- (8) 重複出場届を提出した場合も、必ず本人または代理人が第一次招集を受けなければならない。その際、重複出場届の控えを持参すること。
- (9) 重複出場届を提出した代理人は第二次招集に参加し、出発係にその旨を報告し本人が来るまで責任を持つこと。
- (10) 招集は、招集所にて下記の通り行う。

種目	第一次招集		第二次招集
	招集開始時刻	招集完了時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前	競技開始 10 分前
跳躍種目(棒高跳以外)	競技開始 60 分前	競技開始 50 分前	競技開始 30 分前
投擲種目	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
棒高跳	競技開始 90 分前	競技開始 80 分前	競技開始 60 分前

- (11) リレーオーダー用紙・重複出場届・当日欠場届は受付および招集所にて配布する。

3. 欠場について

- (1) 8月28日(月)12時00分までに事前欠場者届を関西学連までメールにて提出すること。
- (2) 当日欠場は原則として認めない。やむを得ない場合に限り、当該種目の競技当日に当日欠場届を当該種目の第一次招集までにTICに提出することで欠場が認められる場合がある。
- (3) 当日欠場届には、代表者および本人のサインを記入すること。
- (4) リレー競技の当日欠場についても上記の手続きを満たし、第一次招集完了時刻60分前(リレーオーダー用紙提出締切時刻)までに当日欠場届を提出すること。

4. 競技者の服装について

- (1) 同一大学は、事前に学連に提出した同一のデザインのユニフォームを着用すること（提出したユニフォームと異なれば出場を認めない）。これはリレー競技に限らず、すべての種目について適用する。提出したものと異なる形状のユニフォーム（トップスとショーツなど）を使用する場合も、色・デザインを統一させること。
- (2) アスリートビブスは 2023 年度学連登録のものを使用し、ユニフォームの胸部および背部に折り曲げたりせず 4 カ所を止め、明瞭につけること。ただし、跳躍競技においては胸部または背部の一方だけでよい。
- (3) 5000m に関しては、第一次招集時に受け取った腰ナンバーカードと番号を合わせた長距離専用別アスリートビブスを使用すること。
- (4) 全てのトラック競技の腰ナンバーカードは右腰に明瞭につけること。ただし、1500m 以上の種目については両腰につけること。腰ナンバーカードは招集所にて配布する。
- (5) 使用するスパイクのピンの長さはトラック・フィールド共に 9mm 以下とする。ただし、走高跳およびやり投については 12mm 以下とする。
- (6) 本大会は TR5.2 ルールを適用し、規格外のシューズ使用は全て禁止とする。
- (7) 競技会における広告および展示物規定により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については、HP 掲載の別紙『競技会における広告および展示物に関する規定〔国内〕』を必ず確認すること。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。

5. 競技用器具について

- (1) 使用器具は原則として競技場備え付けのものを使用すること。ただし個人所有のやり及び砲丸の使用を希望する場合は、競技開始の 90 分前から 60 分前に検査を受けて許可を受ければ、使用することができる。検査は用器具庫で行う。ただし、検査時間が開門以前となる場合には、正面玄関にて検査を行う。
- (2) 棒高跳用ポールは各自で持ち込んだものを使用すること。

6. トラック競技について

- (1) 計時について、トラック競技の計時は写真判定（0.01 秒）とする。ただし、装置に故障等のトラブルが生じた場合、手動計時（0.1 秒）とする。
- (2) 800m においては、競技運営の都合上 1 組 9 名を超えて競技を行うことがある。その場合、9・8・7 レーンの順に 2 人ずつ選手が入る。
- (3) 5000m に関しては、制限時間を設ける。各レーススタート後、男子 17 分、女子 19 分の経過時点で、残り 1 周到達しなかった競技者は、その週のフィニッシュラインで競技を中止させる。
- (4) 5000m では、気象状況により給水を行う場合がある。

7. フィールド競技について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	種別	ピット	試技開始	備考
走高跳	男子	A/B	1m70	2m00 まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
	女子	A	1m45	1m70 まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
棒高跳	男子	A/B	3m40	5m00 まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
	女子	A	2m60	3m40 まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み

- (2) 走高跳・棒高跳の練習の高さは当日、選手と審判員の協議により設定する。また、悪天候などの不測の事態が発生した場合は、総務・審判長・関西学連の協議により設定の高さを変更し競技を行う場合がある。

- (3) 競技者が1人となった場合のバーの上げ方は、本人の希望により決める。ただし、2つのピットに分かれている場合は、両ピットを通じて1人になった場合に限る。
- (4) 三段跳の踏切板の位置は、男子はAピット・Bピット13m、女子はAピット・Bピット10mとする。
- (5) 走幅跳及び三段跳では、粘土板により踏切位置を判定する。
- (6) 棒高跳の公式練習を行う際はゴムバーを使用する。
- (7) 投擲種目の公式練習は2回までとする。ただし、ハンマー投は1回とする。
- (8) 現場の審判員が許可を与えた上でコーチ席にアドバイスを聞きに行くことができる。しかし、審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は審判長・総務・ヘッドコーチ等で協議し対処する。(競技規則 TR6. 2)

8. 抗議の申し立てについて

- (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、結果が正式に発表（アナウンス）されてから、同一日に次のラウンドが行われる場合は15分以内に、それ以外の場合は30分以内に、その競技者あるいはチームの監督が口頭で審判長に申し出なくてはならない。(競技規則 TR8. 2-3)
- (2) 審判長の裁定に不服な場合は文章と委託金1万円を添えてジュリーに上告する。この抗議はジュリーが即決し、その結果は最終的なものになる。(競技規則 TR8. 7-11)
- (3) 抗議受付は、正面玄関入り口に設けるTICにて行う。

9. 悪天候の際の対応

- (1) 競技の実施が不可能となることが予想される場合には、ヘッドコーチ・競技委員長・事務局長・幹事長と陸協等で方針を競技する。
- (2) 中止となった種目のエントリー料の返金は行わない。

10. 韓国チームのオープン出場について

- (1) 関西学連強化委員会内での協議の結果、標記大会において、以下の通りに韓国チームの出場を認める。
- (2) 出場種目：男子4×100mR
- (3) 備考：決勝進出条件は、関西学連加盟大学チームと同じ扱いをする。決勝に進出する場合は、関西学連加盟大学のプラス進出を1チーム追加し、8チーム+韓国チームの計9チームで実施する。なお、表彰は実施しない。

10. その他

- (1) 競技場内へ立ち入る際、競技場保護のためヒール等の底の固い靴は一切禁止し、アップシューズもしくはスニーカーで入場すること。学生審判・補助員も同様とする。
- (2) 競技者は競技区域内にビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を持ち込めない。(競技規則 TR6. 3. 2)
- (3) 注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その学生の所属する大学の以降の競技を中止させ処罰を与える。
- (4) 大会期間中に疑問な点があれば、大会本部まで申し出ること。